

平成 29 年度「健やかな身体」育成プログラム

学校番号：21009
学校名：札幌市立円山小学校

- 「健やかな身体」育成プログラムのポイント
- ◎ 自分の状況を見つめ直し、改善しようとする子どもを育てる。
 - ◎ 子どもの意欲や取組を支える環境づくりをする。

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「健やかな身体」の育成に係る目指す子ども像	自ら動き出し、つながりを強める子ども		
「健やかな身体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○ 「〇〇月間」を設定し、用具を常設することで活動量を増やし、休み時間にも運動できる場をつくる。 ○ 「なわ跳び」を教育課程に位置付け、子どもの体力向上を図る。(最重要)	【成果】 ⇒ 用具の準備・片付けの時間が短縮されることで活動量を増やすことができた。 ⇒ 「朝なわ跳び」「なわ跳び集会」等をきっかけや目標としてなわ跳びに親しむ子が増えた。	【課題】 <input type="checkbox"/> 見守りの人員の確保 <input type="checkbox"/> たくさんの児童が日常的になわ跳びをすることができる時間と場所の確保
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○ 食育指導の継続と充実 ○ 薬物乱用防止教室など外部と連携した保健指導 ○ 安全授業の実施と改善	【成果】 ⇒ 栄養教諭や外部講師による専門的な知識を活用した指導・授業づくり ⇒ 自分の体を守るためにできることを考え、判断し、行動化に結び付ける授業づくり	【課題】 <input type="checkbox"/> 健康教育としてのそれぞれの取組の結び付きを明らかにし、あらためて系統立てた計画をする
今年度の具体的な改善策(取組)	取組の最重点	A 子どものチャレンジ意欲を引き出し、自ら運動に親しもうとする子どもを育てる		
	A 体育に関する指導の充実	○ 子どもの活動量を増やし、保障する「〇〇月間」「なわ跳び」の継続と拡充。 ○ なわ跳び指導の方法を学び、活用の幅を広げる。 ○ 運動が日常化するよう、体育等で学習したことを楽しむことのできる場や時間の保障をする。 ○ 子どもが遊びたくなるような環境づくり。		
	B 健康に関する指導の充実	○ これまでの保健の学習、食指導、性指導、安全教育、学級活動等を結び付ける「健康教育」の整備。 ○ けがの防止に対する意識を醸成する安全教育。 ○ 自分を大切に、他者を大切にする心を育てる道徳教育。		
検証の方法	各種調査等の活用	○ 保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用(日常の実技テストや観察等) ○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等の活用 ○ 児童アンケートや保護者アンケート等の活用 ○ 学校評議員会・学校関係者評価等の活用		